



第1班のメンバー。前列左から、君島勝見さん(隊長)、池田進さん。後列左から、竹村英男さん、小林耕一さん、佐藤軍二さん、菅野稔さん、吉田茂さん、本田昇さん(第1班班長)、松本隆清さん。

防犯見守り隊の現在の隊員は45名、全員が浪江町民です。9人ずつ5班にわかれ、交代で週5日、町内を巡回しています。この日は、隊長の君島勝見さんが所属する第1班の出動日でした。町内は6ブロックに分けられ(帰還困難区域を除く)、もれなく重複せずパトロールできるようになっています。



帰還困難区域を除く町内を6ブロックに分け、パトロールを行っています。

# 町を守る

町内の安全を守るため、町はさまざまな施策を実施しています。なかでも防犯・防災のために重要なのがパトロール業務。現在、町が実施主体のパトロールは、①町民による防犯見守り隊、②防犯パトロール隊、③消防団、④外部委託事業者などによって行われています。

7月のある日、防犯見守り隊と防犯パトロール隊の巡回に同行取材しました。その様子をお伝えします。

## 浪江町防犯見守り隊の1日

中通りに住む隊員7名が役場二本松事務所に集合、浪江の役場本庁に向けて出発。



本庁に到着。浜通り在住の隊員2名が合流して、9名が揃いました。役場から「7つ道具」(正確には緊急連絡用の携帯電話・異常を発見した際に撮影するためのカメラ・線量計・日誌の4つ)を受け取ります。

見守り隊の必需品



西台地区を巡回中、自宅の除草をしている篠原さんと遭遇しました。一時帰宅中の町民を見かけると必ず声をかけます。声かけの後は日誌に記入。



3名ずつ3台に分乗して出発。君島隊長が乗る2号車の午前の担当は3番ブロック(役場周辺～酒田、西台)です。サン plaza周辺を歩き、前回と変わったところはないか見て回りました。



一時休憩施設「貴布祢」に到着。全員で昼食をとりながら情報交換しました。



町営住宅にも立ち寄り、割れた窓がないかどうかなど外観をチェックしました。



この日は、小高との町境まで巡回しました。途中、住宅の間の路地や細い道にも進入して、異常がないか見て回ります。



歩いて目で確認



午後のパトロール出発。2号車の午後の担当は6番ブロック(立野～田尻)です。



刈野小学校。まだ除染されておらず、雑草が茂っています。こちらにも、窓ガラスが割られたりなど不審な点がないか、外からわかる範囲で確認しました。



本庁舎に帰って日誌を書き、全員で活動報告します。



市街地に戻り、営業再開しているガソリンスタンドで給油。



任務終了、おつかれさまでした！中通り在住の隊員は役場二本松事務所へ帰ります。

※8月10日(月)から毎日、114号を通過して二本松へ戻るチームによる帰還困難区域のパトロールが始まりました。定められた4つのルートを日替わりで走行し、異常がないか車内から確認します。



### 隊長の君島勝見さんから町民の皆さんへ

「大震災・原発事故から4年6か月が経過。毎日の生活、ご苦労様です。町を復旧するには、町を守ること。自分たちの町は自分たちの力で守ろうと考え、町長さんと相談して町民から隊員を募集し、平成26年11月に見守り隊を設立、12月から活動を開始しました。故郷見守り隊として町民のお役に立つよう頑張っています。一時帰宅の際、見かけましたらお互いに声をかけましょう」

## 緊急車両(消防車)による防犯パトロール隊の1日



8:30



隊員 4 名がそれぞれの避難先から浪江の役場本庁に集合し、2 台に分乗して出発。吉田さん、鈴木さんが乗る消防車は帰還困難区域の室原周辺を巡回し、一旦本庁へ戻ったあと高瀬へ向かいました。消防車には、熱中症になっている町民や作業員を発見した時に応急処置ができるよう、飲み物と AED を備えています。



高瀬の丈六公園、いこいの村なみえ、ふたば自動車学校、高瀬球場、帰還困難区域の酒井を通過、谷津田～小野田～大堀小学校～田尻～樋渡方面の住宅街をくまなく巡回。前日と変わったところはないか、玄関先の雑草の倒れ具合や窓の壊れ具合を確認します。他県ナンバーを見かけた際は注視し、一時立入りの町民がいた時は声をかけています。



13:00



一時休憩施設「貴布祢」で昼食をとり、午後のパトロール出発。請戸～両竹～棚塩の沿岸部、北幾世橋～西台方面の住宅街を、けもの道を通りながら隅々まで見回りました。



吉田さんと鈴木さんは、「以前、この時期の高瀬川は大勢の鮎釣りの人で賑わっていました。今は人ひとりいなくて、パトロールをしているととても寂しく感じます。浪江を忘れたことは一度もありません。生まれ育った町の防犯のため、きめ細かいパトロールを行っていきたいです」と、気持ちをお話しくれました。



17:15

最後に浪江駅周辺を徒歩で見回り、この日のパトロールは終了、おつかれさまでした！本庁へ戻り、日誌に記入。17:15、一日の活動終了です。



## 人がいてこそ町は守られる

最も効果的な防犯は、人の目によるものです。震災以前は、地域にたくさんの方がお住まいになり、安全で安心な生活が営まれていました。区域再編以降、町の様子は少しずつ変わり始めています。刑法犯罪の認知件数は年々減少していますが、これはプロによるパトロールだけでなく、防犯見守り隊のような町民の皆さんならではのきめ細かい活動のおかげです。また、町内で再開する事業所が徐々に増えてきたことは、防犯面でも大きな効果があります。多くの方が安心して帰ってこられるよう、私たちは町民の皆さんとともに町を守り続けます。(帰町準備室)

# 町を守る

## 緊急車両(消防車)による防犯パトロール隊

隊員は4名、3名が浪江町民で1名が南相馬市の方です。2名ずつ2班にわかれて、週5日、消防車2台で町内を巡回しています。パトロールの際は消防車を「カンカン」と鳴らしながら、それぞれ別のルートで町内を隅々まで見回ります(帰還困難区域も週1回巡回しています)。※緊急車両(消防車)による防犯パトロールは、緊急雇用対策事業で行っているものです。



左から、板倉弘峰さん、佐藤智洋さん、吉田繁雄さん、鈴木栄市さん。

### 町を守るもうひとつの「目」

人の目による巡回監視を補完するのが、防犯カメラです。町内には、写ったものすべてを録画している防犯カメラが50台、そのほかに車番識別カメラが9カ所18台、設置されています。画像は役場本庁舎内でモニタリングしているほか、警察などからの照会対応に使用しています。



### まだまだいます、町を守っている人たち

◎町が主体となって行うこの他のパトロール

#### 消防団

概ね3名2班体制で、毎週日曜日に消防車2台で巡回します。

#### 警備会社

日中4台、夜間2台で巡回。365日24時間体制で、ゲート管理、夜間モニター監視とともに委託しています。

◎その他に町内を巡回しているいろいろな機関

#### 警察署

#### 常備消防

#### 防犯連絡協議会

除染工事等の受託事業者と警察、および浪江町から構成されています。

#### 東京電力